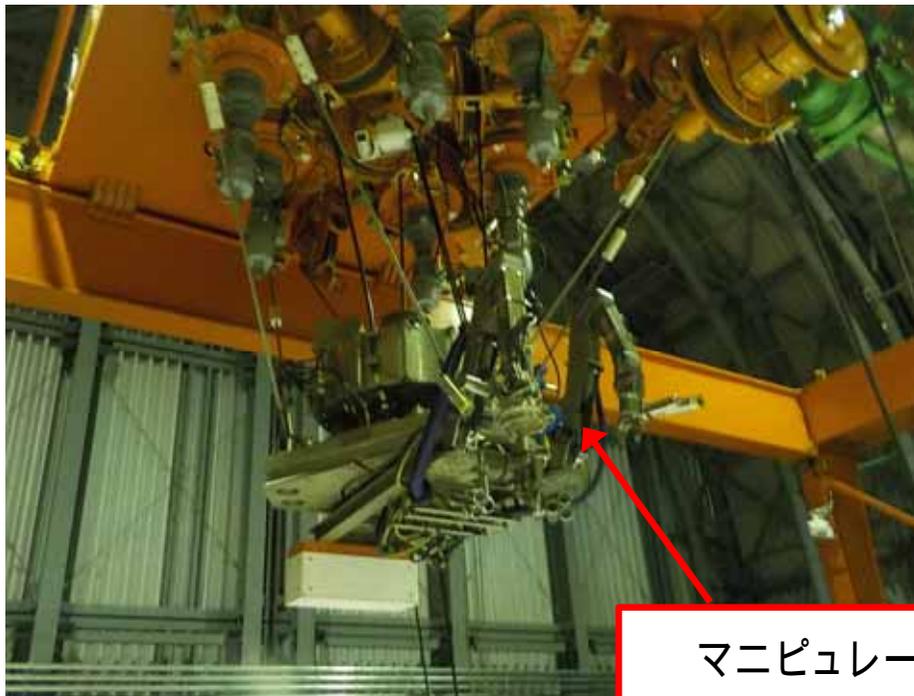


福島第一原子力発電所3号機 燃料取扱設備 安全点検(動作確認)の取り組み状況について

< 参 考 資 料 >
2018年10月18日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 3号機燃料取扱設備に関する一連の不具合を踏まえ、現在、安全点検(動作確認)に取り組んでおり、小ガレキ等を撤去するマニピュレーターや吸引装置、その土台となるテンシルトラスについて、上下伸縮等の基本動作の確認を実施しております。
- また、クレーンの不具合について、10月10日には、8月15日と同様のエラーメッセージが再現されておりますが、10月14日にも関連するパラメータを変更しながら再現性の確認を実施しており、現在、得られてデータの解析・原因究明に取り組んでいるところです。



マニピュレーター

撮影者：東京電力ホールディングス株式会社
撮影日：2018年10月17日

撮影者：東京電力ホールディングス株式会社
撮影日：2018年10月12日

マニピュレータの動作確認状況

- 左右ともに水平に腕を伸ばした状態で電源をオフにしたところ、マニピュレータ先端部の関節が徐々に曲がることを確認しました。

<電源オフ時の動作確認状況>

- ・ 右腕：マニピュレータ先端部の関節が徐々に曲がる。
- ・ 左腕：マニピュレータ先端部の関節が徐々に曲がり、把持部が徐々に開く。

<今後の対応>

- ・ 再度動作確認を行い、再発の有無および原因について調査する。

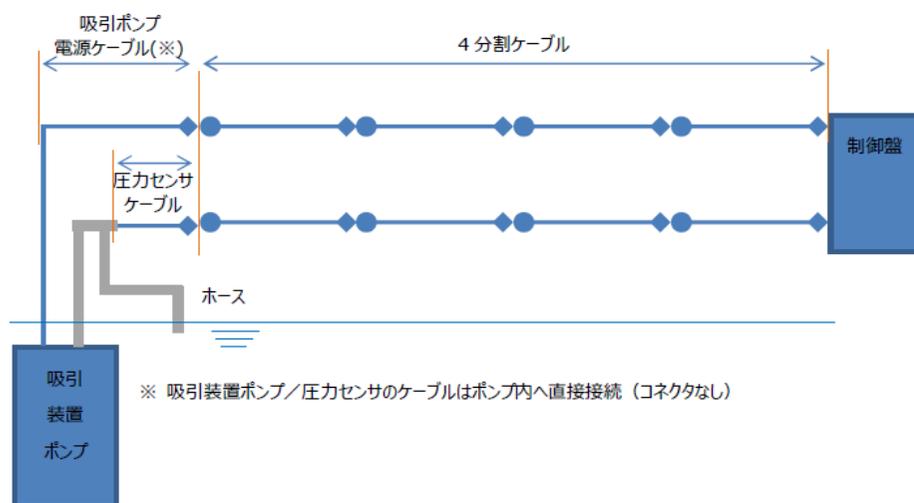
電源をオフにすると
徐々に曲がってしまう
関節部



撮影者：東京電力ホールディングス株式会社
撮影日：2018年10月12日

吸引ポンプの動作確認状況

- 10月17日 に小ガレキ等を撤去する吸引装置の動作確認に向けた準備作業をしていたところ、同装置のケーブルにて絶縁抵抗値が低下していることを確認しました。
- 制御盤側から接続されているケーブルと吸引装置を切り離し、それぞれ絶縁測定を実施したところ、制御盤側のケーブルに問題はなく、いずれも吸引装置側の絶縁抵抗値が低下していることを確認しました。



【①電源ケーブル】

<原因調査状況>

- ・ 10月3日、気中にて絶縁測定を実施（異常なし）
- ・ 10月17日、水中にて絶縁測定を実施（絶縁不良）
→ポンプを水中に設置した後に絶縁抵抗値が低下したと考えている。

<今後の対応>

- ・ 吸引装置を水中から引き揚げて詳細調査中。

【②圧力センサケーブル】

<原因調査状況>

- ・ 作業のために圧力センサを移動しようとしたところ、圧力センサ本体が架台に接触した。そのため、圧力センサケーブルの絶縁抵抗を実施したところ、5芯中1芯にて絶縁抵抗値が低くなっていることを確認。

<今後の対応>

- ・ 圧力センサ部分を中心に、詳細調査中。